

市民オンブズマンわかやま

ニュース NO75

発行責任者 畑中 正好

発行日 2009年9月18日

連絡先 和歌山市十二番丁10番地 和歌山合同法律事務所内

TEL 073-433-2241 FAX 073-433-2767

08年度落札率全国ランキング

県 18位と昨年より15順位「後退」

節約可能額

約十六億二千万円

県は、08年度公共工事の落札率全国ランキングの順位が18位で、談合疑惑度が27位と、いずれも昨年より15順位後退し、節約可能額が約16億2千万円と推計されました。

この後退は、最低制限価格引き上げなどが影響しており仁坂知事の姿勢に問題があると指摘しました。

和歌山市は、落札率ランキングが3位と昨年よりワンランクアップしトップクラスをキープしました。

連続7回目となる08年度の落札率全国ランキングが全国大会に合わせ公表されました。これは、47都道府県を対象に、一年間に行つた予定価格1億円（税抜き、東京都3億円）以上の公共工事の入札について、予定価格に占める落札金額の割合を低率順に順位付けしたものです。

全国トップは大分県の77・6%。県は、落札率が83・8%の順位が18位と、

昨年の77%の3位から15順位も後退しました。落札率90%以上を談合疑惑度として、高率順に順位づけした県の順位は27位でした。その割合が66件のうち落札率90%以上の件数が16件の24・2%で、昨年の42位（8・8%）から15順位後退させ談合疑惑度を高めました。

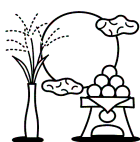
落札率トップの大分県の落札率77・6%が

ざすべきであり、入札は、「誰もが入札に参加でき」「誰が入札に参加しているか分からない」ようにすべきです。

和歌山市は、33の県庁所在市を対象に、一年間に行つた予定価格5000万円以上の公共工事の入札について、同様に調査したものです。和歌山市の落札率順位は3位（77・7%）と昨年よりワンランクアップし、トップクラスをキープしました。

品質の低下を防止するため「などと称して行った最低制限価格引き上げや、最低制限価格などの事前公表から事後公表にしたことなどが影響していると思われるからです。

県は、「安くて、良いものを造る」ことをめ



県・県内9市情報公開度ランキング

県内市トップ 新宮市, 最下位 御坊市

県内各市 透明化の遅れ顕著

当会は、8月11日、県と県内9市の情報公開度ランキングの結果を公表。県内市トップは100満点中65点を獲得した「新宮市」。一方、最下位は、9点の「御坊市」でした。

90点を獲得した県と県内各市を比較して、県内各市の情報透明化の遅れが顕著であるとなりました。

県内9市の平均点42点を下回っている最下位の御坊市、有田市、橋本市、岩出市、紀の川市の5市に透明度を高める努力が必要だと指摘しました。

県内9市の情報公開度ランキングは、情報公開の請求人となる人の協力を募集し、今年初めて実施。ランキングの対象は、市で、獲得得点は、交際費情報が、法人・団

体名のみを開示するレベルの10点、A4コピー用紙の購入に関する予定期格情報が、入札後に開示請求があれば開示するレベルの25点、請求人の範囲とコピー代が両方とも満点を獲得しました。一方、9市の平均点42点を

下回っていた最下位の御坊市、有田市、橋本市、岩出市、紀の川市の5市に、透明度を高める努力を求めました。また、問題のある交際費も指摘しました。その一部を紹介します。

海南市長

陸上自衛隊第37普通科連隊機動(災害・防災)訓練総行進への激励金3万0000円の支出は、交際の相手公務員でありかつ、職務として訓練しているものであつて、市長の職務との関連上、交際の必要な相手方とは認められず、裁量権を逸脱している。

有田市長

「自衛隊入隊激励」金50000円の支出は、個人への単なる就職祝

いの性格と認められるものであり、市長の職務との関連性がなく裁量権を逸脱している。

田辺市長

「二階経済産業大臣を囲んでの昼食会費」とする20000円の支出は、特定の議員に対するものであり、政治的中立性を欠き、裁量権を逸脱している。

「第19回紀伊半島知事会議懇親会」へのビール1ケース代7160円の支出は、市長の出席を伴わない贈答品であり、知事ら公務員同士の懇談にビールを贈答することの必要性はなく、裁量権を逸脱している。



県 道路予算からみえてきたもの

義務的経費, 自前財源で約7億円不足

道路建設より財政の立て直しを！

全国大会で発表されたことを受けて当県の状況を取りまとめて公表しました。

県は、国庫補助金への依存度が20・84%と全国平均の19・31%より約1・5%高く、義務的経費を賄う自前財源が「7億5千万円」不足し、借入金や国庫補助金でカバーせざるを得ない状況に陥っていました。これでは、道路建設の促進が何のための建設かが問われます。

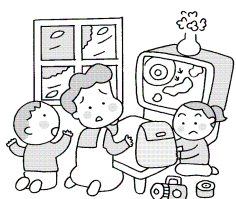
当会は「道路より財政の立て直し」を提言しました。

全国都道府県の平成20、21年度の道路に使用される経費と財源について調査・分析した全国結果が全国大会で公表されたことを受けて当会が、県の状況について取りまとめ、9月9日に公表しました。

県の国庫補助金依存割合が20・84%であり、全国平均の19・31%より約1・5%高いことが分かりました。依存度は、道路総財源に占める国庫補助金の割合。平成21年度の道路総経費が約707億円。そのうち重要な視点となす。この経費を県が自前の財源で賄えるかどうかも重要な視点となります。自前で賄えない場合、借入金や国庫補助金でカバーせざるを得ない状況とみることもができるからです。

と一般財源の計266億6千万円。ゆえに、自前財源が約7億5千万円不足することが分かります。すなわち、義務的経費を自前財源で賄うことができないという事態に陥っていました。これでは、何のための道路建設かが問われることになりました。財源とする借入金は、平成21年度が約278億円で、20年度より約51億円増やしていました。

悪化させることになり
ます。
当会は、借入金を増やす道路建設は止めて、財政の立て直しを図るべきだと指摘しました。
国の道路特定財源が一般財源化されたことによる変化を国の財源で見ると、20年度が約148億8千万円、21年度が約147億3千万円とあまり変化しておらず、相変わらず道路に国庫補助金が使途されていることも分か



制が脆弱であることが取り上げられました。

まず、監査委員の専門性について、監査委員は議員及び識見を有する者から選任される。そのうち議員の監査委員について、その任期が議員の任期とされているが、実際にはほとんどが在任一、二年で交代している。

しかし、監査委員本来の職務を適切に行うとすれば、そのような短期間で、監査委員の職務に習熟できるはずはないという。もっともなことに思いませんか。それに、議員監査委員の実際の選任が、ベテランあるいは当選回数が多い議員から選任されることが慣行となつていて、ところが少なくない上、議員報酬とは別に監査委員報酬が支給されるためいわば名誉職的な位置づけで選ばれている実態があるということです。以前から議員の監査委員は廃止すべきと思つていましたが、その思いをなお強くしました。

識見監査委員の任期は四年で、識

見委員の数から1名を減じた人数以上は、いわゆるOB職員ではなかつた者を選任するよう制限がなされているという。これは、OB職員はどうしても身内に甘くなる傾向があり、監査委員本来の機能を充分果たすことができないのではないかとの疑念がもたれたためだそうです。現職員に対する監査を、OB職員が、公平にできるとは到底思えません。OBになつたとはいえ仲間内ですから。もっともOB職員が就任していない都道府県が18道県あることも分かりました。和歌山県はOB職員が常任の監査委員をしていますが、OB職員を選ぶのを「やめて」と言いたい。

監査委員事務局

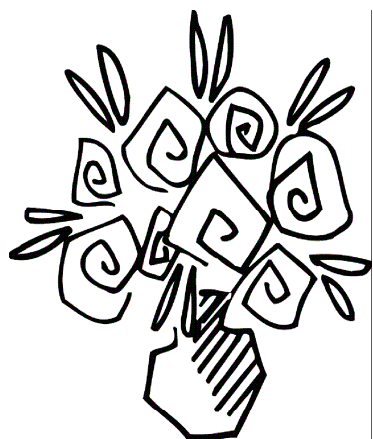
独立性・専門性に疑問

監査委員事務局にも焦点が当てられ、事務局職員の独立性と専門性が議論されました。とりわけ、職員は、

部局を異動するが、監査をした部局へ異動することがあるという。この部署へ異動してくるかも、と頭をかすめれば、監査時に「甘い」判断となつてしまうことは否定できないと思う。監査をした部局へ異動することを、制度的には防止されてはならず、独立性に問題があることが分かりました。職員の力量が監査委員の職務執行を左右することは誰にも分かること。従つて、事務局職員を配置する際に、中小企業診断士の資格を持つ職員や企業会計に精通した職員を配置することの必要性が痛感され

ます。そのような配慮した職員配置を和歌山県はしているのだろうか。OB職員を常任監査委員に就任させているような自治体だから、到底、期待できることのないことと思うが。

今回も、多くのことを学ぶことができ、活力の沸く大会でした。



全国市民オンブズマン

第十六回岡山大会に参加して

阪谷 昇良

去る八月二十九、三十の両日、岡山大学創立五十周年記念館で開催された全国大会に久しぶりに参加しました。当日は、偶然にも衆議員の選挙投票日と重なったにも拘わらず全

国各地から三百一十四人の参加があり、予定どおり無事開幕しました。

今回の岡山大会のメインタイトルは「おえりゃあせんのお、地方財政！でした。」「おえりゃあせんのお」は、岡山弁で「絶望」と言う意味らしい。

前鳥取県知事

片山善博氏が講演

最初に、前鳥取県知事で現在、慶応大学教授の片山善博氏の記念講演がありました。メインタイトルに因

んだのであろう「末期的な自治体財政から真の地方分権を考える」がテーマでした。

片山氏は語り口はおだやかでしたが、矢張り元知事らしく、地方財政がどんなに危機的状況にあるか、財政破綻した北海道の夕張市、財政再建に取り組む大阪府など具体的な事例を挙げながら説明されました。もっとも、大阪府の財政状況は、橋下知事が言っているような危機的な財政破綻を起こすような状態ではないらしい。それは、夕張市の赤字が自治体の年収の十倍以上に相当するが、大阪市の赤字は約二カ年分であり、他の地方自治体が抱える赤字と比較してもたいしたことではないというのです。

次に、自治体の赤字の責任は、機能していない議会にあると指摘します。議会の質の向上を求め、重要な施策については住民投票の活用を提案されました。

また、現在の法律では、地方税の

最低限の税率が固定されており、地方議会ですれ以下の税率にすることができないことにも問題があると指摘します。仮に、住民の努力により地方財政が豊かになっても、地方議会が独自に税率を決め納税者にその成果を還元することは出来ず、これでは、地方自治体の住民が努力のし甲斐がなく、税率を下げることできない仕組みを変える必要があるとの持論を披露されました。

その後の分科会は、監査委員、地方財政、談合、情報公開、初めてのオンブズマン、議会など七分科会が持たれ、私は監査委員の分科会に出席しました。

OB 職員の監査委員

選任は「やめて」

監査委員の分科会では、監査委員が充分機能していない問題点として、監査委員の独立性、専門性が担保されていないこと、事務局体



議 員 也 直 下 山

政 務 調 査 費 で

散 水 ホ ー ス 、 ト イ レ の 消 臭 液 、
除 草 剤 、 ア リ の 巢 コ ロ リ を 購 入

ました。
迫間 話変わりますが、県議の政務調査訴訟の証拠資料の検討終わりましたか。
畑中 一応、最後まで終了しました。
阪谷 前回の、あれはひどかったですね。
井上 育毛促進剤に、薬用歯磨き、ヘルメット、それに散水ホース……。
阪谷 今回は、どのようなものが？
畑中 散水ホースもありました。それに――、除草剤に、トイレの消臭液、アリの巣コロリがありま



した。
井上 えっ――、そんなの信じられんわ。
阪谷 誰ですか。それらを公金で購入していたのは。
畑中 山下直也議員です。
迫間 そりゃっひどい。
畑中 まったくです。
迫間 政務調査費を自由に使える金とっているのじゃないですか。

阪谷 しっかりと追及していかないと。
畑中 そう思います。

領 収 証 ○コーナン

和歌山店 ☎ 073-435-0157
お買い上げ商品の返品・交換は、必ずこの領収書をご持参のうえ2週間以内にお願いたします。(一部商品につきましては、除外させていただきます。)

2004年07月07日(水)	No. 0002
№312	
4516262100017 JAN	
0980CL 977-07	¥680
小計	¥680
内税(7%増) 680.32	
合計	¥680
お預り	¥1,000
お釣り	¥320
(消費税等)	¥32)
No. 3916	1点買 11:09TM

領 収 証 ○コーナン

和歌山店 ☎ 073-435-0157
お買い上げ商品の返品・交換は、必ずこの領収書をご持参のうえ2週間以内にお願いたします。(一部商品につきましては、除外させていただきます。)

2004年05月27日(木)	No. 0001
№326	
4901070113774 JAN	
1580CL 1-16/19(674-7)	¥238
4901080044204 JAN	
1580CL プラス 300	¥368
小計	¥606
内税(7%増) 606.26	
合計	¥606
お預り	¥1,000
お釣り	¥394
(消費税等)	¥28)
No. 4416	2点買 09:55TM

領 収 証 ○コーナン

和歌山店 ☎ 073-435-0157
お買い上げ商品の返品・交換は、必ずこの領収書をご持参のうえ2週間以内にお願いたします。(一部商品につきましては、除外させていただきます。)

2004年05月06日(木)	No. 0002
№321	
4975196402210 JAN	
0983CL 1-35/40(674-7)	¥4,032
4516262100017 JAN	
0980CL 977-07	¥627
小計	¥4,659
内税(7%増) 4659.221	
合計	¥4,659
お預り	¥4,700
お釣り	¥41
(消費税等)	¥221)
No. 4416	2点買 15:46TM

県監査委員 個人情報公表問題

公開質問に、今後に改善を示す回答

9月11日、県監査委員らは、当会が9月3日に提出した公開質問状に対する回答として、住民監査請求の写しを監査対象部局に交付する際や、監査結果を公表する際の請求人の個人情報の扱いについて、個人情報の公表には、「請求人の同意を得ることとして対応する」と、回答し、それに沿った要綱を作るとして改善を示しました。

県監査委員らからの回答は、当会が9月3日に提出していた公開質問に回答したもので

公開質問は、当会のメンバーが行った住民監査請求に関する監査結果に記載されている請求人らの個人情報（住所、氏名）が保護されず県報に公表されたこと、監査対象部局に請求書の写しを交付する際にも請求人らの個人情報保護が漏洩されたとみなさ

いては、本人の「同意を得る」ようにするとしました。また、口答で作成し、対応するにしました。過去への反省はみられませんでしたが、今後の対応について、改善を示したことを評価して、今後、その改善を監視することとしました。

編集部座談会

前号の編集部座談会で、裁判中の県議・政務調査費違法支出金返還請求訴訟に提出された資料から、政務調査費で、育毛促進剤、薬用歯磨き、ヘルメット、ホースなどが購入されていたことをお伝えしました。その後に判明したことを、取り上げます。



今回も政務調査費訴訟で明らかになったあきれた使途

井上 阪谷さん、全国大会への参加ご苦労様でした。 ちらもお読み下さい。

迫間 畑中さんも参加したのでしょうか。

阪谷 全国大会のことは別に投稿（4ページに掲載）しておりますので、是非、そ

畑中 私も参加しましたが、森崎弁護士と芝野弁護士も参加し

当面の予定

- 9月18日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業日
- 9月25日 AM 10:00 ~
県議政務調査費違法支出金返
還請求住民訴訟の裁判
- 9月30日 PM 6:00 ~
第3回全員会議
- 10月26日 PM 4:00 ~
編集会議
- 11月16日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業日
- 11月24日 AM 10:00 ~
県議政務調査費違法支出金返
還請求住民訴訟の裁判
- 11月25日 PM 6:00 ~
第4回全員会議

裁判情報

県議・政務調査費違法 支出金返還請求住民 訴訟

7月28日に裁判が行われました。前回に引き続き各議員の主張の裏付け証拠として提出のあった資料についての反論を当方の側から行っています。後6名分になりました。

次回は9月25日の午前10時からです。

次回会員会議のご案内

日 時 9月30日(水)午後6時 ~
場 所 和歌山市勤労者総合センター
(和歌山市役所西隣 TEL 073-433-1800)

こぞってご参加下さい